

ごみゼロリーダーアンケート結果

貴重な声をいただきありがとうございました

ごみゼロリーダーの皆様には、3月に実施しましたアンケートにご多忙中のところご協力いただき誠にありがとうございました。アンケートの集計結果が出ましたので、ごみゼロリーダーの皆様にお知らせいたします。

アンケート総数：4,082 回答総数：2,440 (回答率：59.7%)

【問3 あなたが、これまで推進員として取り組んでこられた活動は？また、今後取組んでみたい活動は？】

	これまで取り組んだ活動	今後取組んでみたい活動
Top まちの美化清掃活動	64.7%	45.6%
Top ごみの分け方・出し方など分別ルールに関する啓発	53.4%	36.7%
Top 資源集団回収の実施	39.7%	30.7%
ごみ減量・3Rに関する意見・要望の環境事業センターへの提供	9.5%	18.1%

「分別ルールに関する啓発」や「まちの美化清掃活動」に多くの推進員の方が取組んでいただいています。



【問4 ごみ減量や3R等に関してあなたが知りたい情報は次のうちどれですか？】

Top 分別収集したごみのゆくえ (どのようにリサイクルがなされているか等)	51.1%
Top 家庭で出来るごみの減量方法	46.9%
Top 大阪市のごみ減量の進捗状況	40.7%
Top ごみの分け方・出し方 (種類・収集日・分別方法)	35.9%
Top 地域でのボランティア清掃活動状況	34.8%

「分別収集したごみのゆくえ」と「大阪市のごみ減量の進捗状況」について知りたいという意見を多くいただきました

【問5 ごみ減量や3Rに関する大阪市の情報を、あなたがよく目にする、力を入れるべきなのは次のうちどれですか？】

	よく目にする	力を入れる
Top 町会・自治会等の回覧版	60.4%	40.2%
Top 区広報紙	49.6%	32.7%
Top 町会・自治会等の掲示板	42.9%	30.7%
Top 環境局発行のパンフレット (「ごみのマナー-ABC」「ごみ減量アクションプラン」等)	33.0%	28.0%
Top 環境事業センターからの情報提供	19.1%	26.4%

よく目にするものと今後力を入れるべき広報手段として、「町会・自治会等の回覧版」と「区広報紙」という意見を多くいただきました。



【問6 ごみ減量・3R、美化活動等に関して、あなた自身や地域でお困りのことや関心のある事は何ですか？】

	お困りのこと	関心のあること
Top 不法投棄	40.7%	25.5%
Top 路上喫煙対策	30.6%	27.5%
Top 粗大ごみの出し方	24.5%	28.0%
Top 家電リサイクル法対象品目(エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機)の処分方法	21.9%	28.7%
Top 出したごみがカラス等に荒らされる	29.7%	20.3%
Top 資源ごみの分け方・出し方	20.3%	24.1%
Top 容器包装プラスチックの分け方・出し方	19.4%	22.7%
Top 古紙・衣類の分け方・出し方	15.0%	23.2%
Top 分別収集したもののゆくえ (どのようにリサイクルされたか)	5.5%	31.8%

お困りのことは、「不法投棄」が一番多く、関心のある事は、「分別収集したもののゆくえ(どのようにリサイクルされたか)」が一番多かった。



問7 あなたが推進員として活動する上で、本市のどのような支援が必要と考えますか。

Top 大阪市のごみ減量施策に関する情報	41.1%
Top ごみや資源物を処理・リサイクルする施設の見学	37.3%
Top 推進員と地域住民が情報・意見交換するための ごみ減量・3R推進に関する資料	35.0%
Top 推進員同士、また推進員と環境事業センターが 情報・意見交換するための会議	26.8%

「大阪市のごみ減量施策に関する情報」や「施設見学」など活動する上で大阪市からの支援が必要であるとの意見をいただきました。

問8 推進員の活動を活性化させるため、環境局以外のどのような団体等と連携すればよいと考えますか？

Top 行政機関として地域の総合的窓口を担う区役所との連携	47.8%
Top 公園を維持管理している公園事務所との連携	39.0%
Top 地域活動協議会等の地域の活動団体との連携	31.7%
Top 道路の維持管理を担当している工営所との連携	30.7%
Top ごみ問題に取り組んでいるNPOや市民団体との連携	21.6%

約半数の方から地域の総合的窓口を担う区役所との連携が必要との意見をいただきました。



情報コーナー

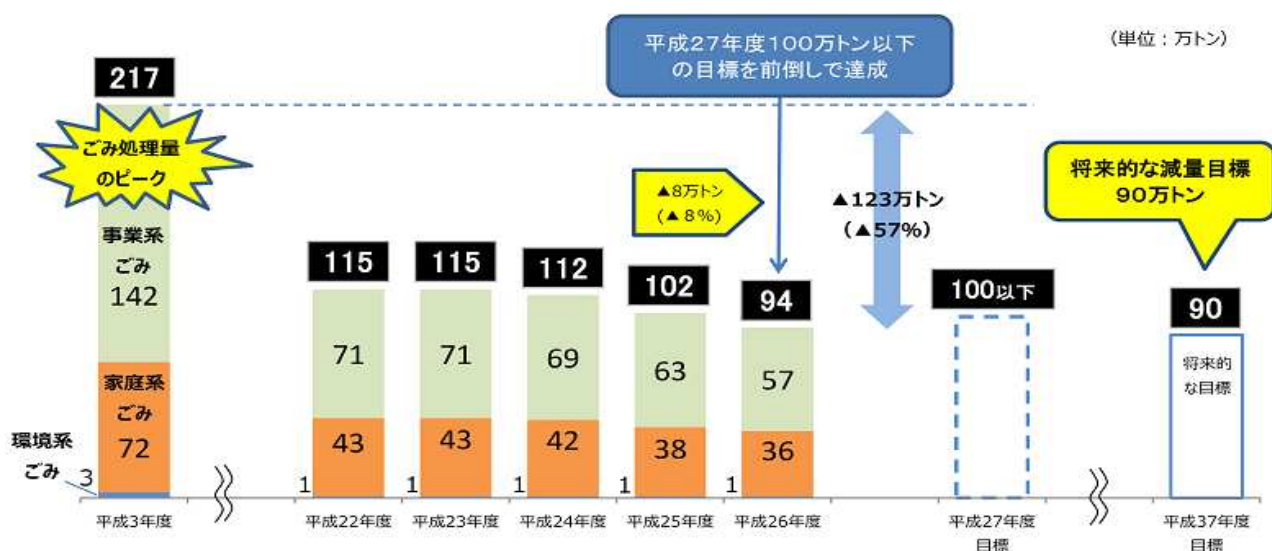
アンケートの中で、ごみ減量・3Rについて知りたい情報としてごみゼロリーダーの皆さんから多くの回答を頂いた「大阪市のごみ減量の進捗情報」についてお伝えします。

皆様のご協力のおかげで、ごみはこんなに減りました！

平成26年度のごみ処理量（焼却量）が、94万トンとなりました。

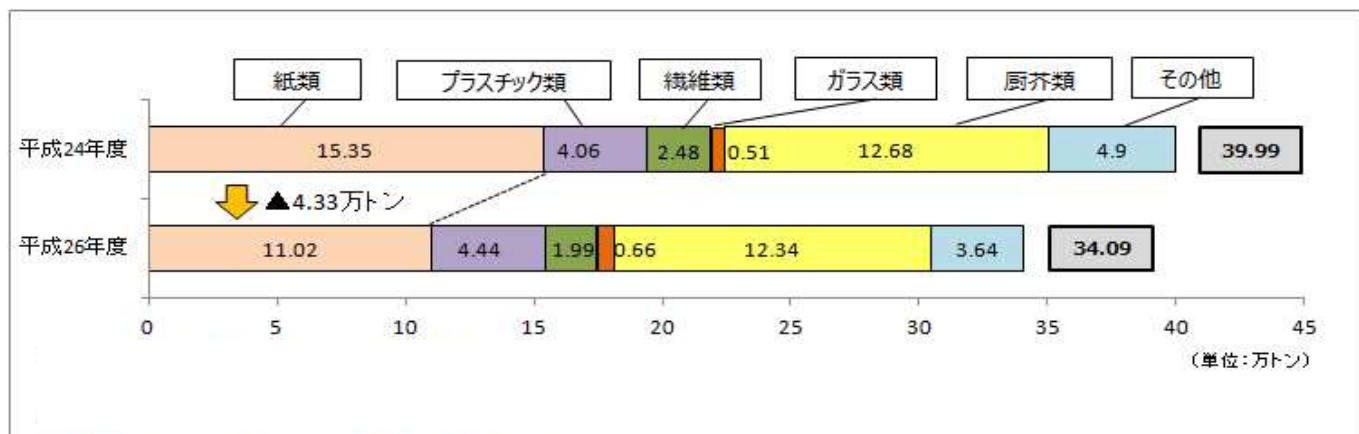
これは、「平成27年度の年間ごみ処理量100万トン以下」という計画目標を1年前倒して達成したもので、前年度のごみ処理量102万トンに対し、8万トン（8%）の減量となります。また、ピーク時である平成3年度の217万トンと比較すると、123万トン（57%）の減量となっています。

本市では、平成37年度を目途とした将来的な減量目標として、ごみ処理量90万トンをめざすこととしており、今後もさらなるごみ減量に向け、取組を進めます。



ごみの分別もさらに進んでいます。

平成25年10月から開始した古紙・衣類の分別収集では、市民の皆さまにご協力をいただき、それまで普通ごみとして排出されていた古紙類が分別され、大きな減量につながっています。



ごみ減量が進むと... こんなに良いことがいっぱい！！

市民の皆さんのご協力により、ごみ減量が進むことにより様々な効果が出ています！
更なるごみ減量を進めていくためにも、引き続き、ごみの分別にご協力をお願いします。

コストの削減

・ごみ焼却工場を減らして経費削減！

年間9億円の維持管理費を節約！？

現在、大阪市では7つの焼却工場でごみを処理しており、今年度にはさらに1工場減り、6工場で処理することになります。

かつて9工場でごみを処理していたのと比べて、6工場体制になることで、焼却工場の維持管理コストが年間9億円節約できます。また、焼却工場を建替にかかる費用も節約できます。

【参考：平成22年度に竣工した東淀工場の建設費：200億円】



最終処分地の延命

・ごみ焼却灰の最終処分地の延命を図ることができます！

ごみを焼却した灰は最終的に埋立てにより処分しています。

しかし、大阪市が主に埋め立てをしている北港処分地も処分できる量には限りがあり、新たに大阪市独自で新たな埋立地を確保するのは困難であることから、ごみ減量を進めて少しでも延命を図る事が重要です！



人員・機材の削減

・人員の削減：約23%減

ごみ収集や焼却処理を行う技能職員数が減少しています！

平成20年度：2,930人 平成26年度：2,263人

・ごみ収集機材の削減：約25%減

普通ごみ収集に使用する機材も削減しています！

平成20年度：372台 平成26年度：280台



編集・発行

大阪市環境局家庭ごみ減量課

大阪市阿倍野区阿倍野筋1-5-1

TEL:06-6630-3259 FAX:06-6630-3581

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

発行年月 平成27年8月

